



デ ー タ あ り

令和 7 年 7 月 1 1 日

市政記者クラブ 様

東 山 総 合 公 園
植 物 園 下総・大橋
電話 7 8 2 - 2 1 1 1

世界で最も大きな花の一つ ショクダイオオコンニャクが開花の兆しを見せています

東山動植物園において栽培している「ショクダイオオコンニャク（スマトラオオコンニャク）」が開花する見込みとなりました。世界最大級の花で開花時に悪臭を放つと言われるインドネシア・スマトラ島固有の植物です。めったに咲かない植物ですが、東山動植物園では令和 5 年以来 2 回目の開花です。是非、取材していただきますようお願いいたします。

記

1 開花予想

令和 7 年 7 月 1 8 日（金）～ 2 5 日（金）（予定）

※ 7 月 1 5 日（火）より温室にて展示予定です。

※ 開花は前後する可能性があります。

2 今後の開花情報

- ・ 開花状況については、東山動植物園公式 SNS で随時お知らせいたします。
- ・ 通常は夕方から開花が始まり、開花日を含めて 2 ～ 3 日間が花の見ごろとなります。
- ・ 前回、開花時の悪臭は深夜までありましたが、朝にはほとんど臭いがありませんでした。

3 展示場所

植物園温室前館東花卉室（位置図参照）

4 開花時の観覧

開花の翌日から 2 日間、温室前館香りの有用植物室（温室前館正面向かって右側）をショクダイオオコンニャク専用の観覧出入口とし、温室内の観覧通路を一部制限します。観覧時間は通常の温室観覧時間と同様、9 時から 16 時 45 分までです（入園は 16 時 30 分まで）。

※ 混雑状況によって、観覧時間に制限を設ける場合や観覧終了時間に合わせて待機列を制限する場合がございます。

5 開花の始まりの取材

開花の始まりの状況を取材されたい場合は、事前にご連絡ください。

※ 開花の兆候が始まってからの直前の連絡となりますので、ご了承ください。

【ショクダイオオコンニャク（スマトラオオコンニャク）について】

- ・学 名：*Amorphophallus titanum*
- ・英 名：Titan arum
- ・形 態 等：インドネシア・スマトラ島の熱帯雨林に自生する、サトイモ科コンニャク属の希少植物です（絶滅危惧種：国際自然保護連合（IUCN）レッドリストにおいてEN（危機）に分類）。

大きなものは高さ約3m、小ぶりなものでも1m以上の高さになる、世界最大級の花を咲かせる植物として知られています。

その名の通り、燭台（しょくだい）のような花を数年に1度咲かせるといわれており、その花は開花してから2～3日しか持ちません。花は肉が腐ったような強烈な悪臭を放ち、その匂いで虫を呼び寄せます。



令和5年7月6日撮影
（東山動植物園）

【位置図】

